

一般社団法人日本粘土学会 平成 29 年度総会議事録

開催日時：平成 29 年 9 月 25 日（月）11:30～12:35

開催会場：富山大学 五福キャンパス共通教育棟 C11（富山市五福 3190）

出席者：理事(25名)：八田珠郎、千野裕之、小暮敏博、河野元治、會澤純雄、伊藤健一、伊藤弘志、上原元樹、梅村泰史、蛭名武雄、大川政志、大河原正文、太田俊一、岡田友彦、川俣 純、地下まゆみ、篠原也寸志、高橋範行、田村堅志、林 亜紀、前田雅喜、丸茂克美、宮脇律郎、和田信一郎、渡辺雄二郎

委任状提出理事(4名)：上原誠一郎、桑原義博、牧野知之、皆瀬 慎

監事(2名)：月村勝宏、山崎淳司

理事以外の正会員：38名、理事以外の委任状提出正会員：158名

出席者総数：出席正会員：63名、委任状提出正会員：162名、合計：225名

成立確認：正会員総数：307名、特別議題での定足数（正会員総数の 2/3）：205名

よって、平成 29 年度総会の開催は成立

1. 開 会：定刻に至り、河野常務委員長より総会の開会が宣言された。次に篠原庶務委員から本日の総会は出席者 225 名で、特別議題での定足数 205 名を満たしているのが有効に成立していることが報告された。
2. 会長挨拶：八田会長より総会を開会するに当たっての挨拶が述べられた。
3. 議長の選任：河野常務委員長より、議長として八田会長が推薦され、満場一致で承認された。
4. 議事録署名人の指名：河野常務委員長より、議長の指名により千野副会長と小暮副会長を議事録署名人とすることが提案され、満場一致をもって承認された。
5. 審議事項

第 1 号議案 平成 29 年度事業報告

各担当常務委員及び河野常務委員長より、平成 29 年度実施事業について、次の各事業項目ごとに実施状況の説明が行われた。1. 学術雑誌の編集と発行、2. 研究発表会・見学会等の開催、3. シンポジウム・セミナーの開催、4. 参考資料、5. 広報、6. 渉外、7. 表彰、8. 研究促進、9. 庶務、10. 学会誌等の電子化推進、11. 常務委員会及び理事会。次に議長が本議案について諮り、異議なく満場一致をもって承認された。

第 2 号議案 平成 29 年度収支決算報告及び監査報告

志々目会計委員より、1. 平成 29 年度収支計算書、2. 平成 29 年度標準粘土試料決算、3. 平成 29 年度 Clay Minerals 購読関係収支、4. 学術振興積立金決算、5. 貸借対照表、6. 財産目録、7. 正味財産増減計算書についての説明が行われた。次に山崎監事より平成 29 年度監事監査報告が行われた。その後、議長が本議案について諮り、異議なく満場一致をもって承認された。

第 3 号議案 日本粘土学会定款の一部変更について

(1) 定款第 2 条の一部変更

河野常務委員長より、平成 29 年 10 月 1 日をもって当法人の主たる事務所を新宿区に移転するため、定款の第 2 条の「千代田区」を「新宿区」変更したい旨が説明された。次に議長が当該条項を変更することの可否について諮り、異議なく満場一致をもって次のとおり承認された。（事務所）

第2条 この法人は、主たる事務所を東京都新宿区に置く。

(2) 定款第12条の一部変更

河野常務委員長より、第12条の「会員規程」を「会費規程」に変更したい旨が説明された。次に議長が当該条項を変更することの可否について諮り、異議なく満場一致をもって承認された。

(3) 定款第14条の一部変更

河野常務委員長より、第14条第2項として、「総会を招集するには、書面による通知の発出に代えて、電磁的方法により通知を発することができる。」を追加に変更したい旨が説明された。次に議長が当該条項を追加することの可否について諮り、異議なく満場一致をもって承認された。

(4) 定款第17条の一部変更

河野常務委員長より、第17条第3項に「ただし、出席した正会員全員が選任議案の一括決議に同意した場合には、この限りではない。なお、」を追加したい旨が説明された。次に議長が当該条文を追加することの可否について諮り、異議なく満場一致をもって承認された。

(5) 定款第31条2項の一部変更

河野常務委員長より、第31条第2項の「会長」を「代表理事」に変更したい旨が説明された。次に議長が当該条項を変更することの可否について諮り、異議なく満場一致をもって承認された。

(6) 定款附則の削除

河野常務委員長より、末尾記載の附則をすべて削除したい旨が説明された。次に議長が附則をすべて削除することの可否について諮り、異議なく満場一致をもって承認された。

第4号議案 平成30年度事業計画案

各担当常務委員及び河野常務委員長より、平成30年度事業計画について次の各事業項目ごとに実施予定内容の説明が行われた。1. 学術雑誌の編集と発行、2. 研究発表会・見学会等の開催、3. シンポジウム・セミナーの開催、4. 参考試料、5. 広報、6. 渉外、7. 表彰、8. 研究促進、9. 庶務、10. 学会誌等の電子化推進、11. 常務委員会及び理事会。次に議長が本議案について諮り、異議なく満場一致をもって承認された。

第5号議案 平成30年度収支予算案

志々目会計委員より、平成30年度収支予算の内容が説明された。次に議長が本議案について諮り、異議なく満場一致をもって承認された。

第6号議案 名誉会員の推薦

河野常務委員長より、坂本尚史会員の名誉会員への推薦理由が説明され、名誉会員として承認することの提案がなされた。次に議長が本議案について諮り、異議なく満場一致をもって承認された。

6. 報告事項

(1) 事務局について

河野常務委員長より、平成29年10月1日より、日本粘土学会の事務局を次のとおり株式会社国際文献社に変更することが報告された。引き続いて、国際文献社一般社団法人日本粘土学会担当の川島様より挨拶がなされた。

新事務局 名称：株式会社国際文献社
住所：東京都新宿区山吹町 358-5

(2) Clay Science の電子ジャーナル化について

河野常務委員長より、Clay Science を電子ジャーナル化する目的と電子ジャーナル化の具体的な内容が説明され、2018年12月発行のClay Science Vol.24, No.4から電子ジャーナルへの移行を予定していることが報告された。

(3) 粘土科学討論会講演要旨集の電子化について

河野常務委員長より、第62回粘土科学討論会から講演要旨集冊子体の発行を行わず、討論会当日に電子データでの配布及び討論会開催後に電子データのJ-STAGEへの登録と公開を行うことが報告された。なお、山崎会員より、電子データについては討論会開催前にホームページで事前公開する方向で検討を行っていることの補足説明がなされた。

(4) 平成29年度学会賞等の受賞者

平成29年度日本粘土学会学会賞等の受賞者について、次のとおり報告された。

学会賞：川俣 純（山口大学大学院創成科学研究科）

技術賞：田谷野孝夫、村田昌英、寒河江竹弘（日本ポリケム株式会社）、内野英史（日本ポリプロ株式会社）

授賞題目「オレフィン重合用メタロセン触媒への粘土鉱物の適用」

論文賞：安楽総太郎、松原勇武、森本和也、佐藤 努

論文：オマーンオフイオライトに湧出する高アルカリ泉周辺における二次鉱物の生成とその要因、粘土科学(2017)、第55巻第2号、17-30

論文賞：M. Komatsu, K. Tamura, K. Saruwatari, A. Yamagishi, and H. Sato

論文：QCM studies on adsorption of water molecules on a single-layered clay film, Clay Science (2016) 20(1), 13-19.

学術振興賞：長下 敬（山口大学大学院 創成科学研究科）

小池正和（早稲田大学大学院 先進理工学研究科）

(5) 第61回粘土科学討論会の開催状況

丸茂討論会実行委員長より、第61回粘土科学討論会の開催状況について次のとおり報告された。講演数はシンポジウム講演5件、一般講演の口頭発表48件、ポスター発表33件、合計86件。参加登録数は、正会員（含シニア会員、名誉会員）81名、学生会員16名、共催・協賛学会員3名、共催・協賛学会学生会員0名、非会員3名、学生非会員14名、合計117名。

(6) その他

佐藤渉外委員より、2018年8月開催のIMA2018（国際鉱物学会議）への参加の呼びかけが行われた。

7. 閉 会

以上をもって本総会における全議案の審議及び報告を終了したので、議長は12時35分に閉会を宣言した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに記名押印する。

平成 29 年 9 月 29 日

一般社団法人日本粘土学会 平成 29 年度総会

議 長 八 田 珠 郎 ⑩

議事録署名人 千 野 裕 之 ⑩

議事録署名人 小 暮 敏 博 ⑩